

子どもの命は親の“気付き”に委ねられている!!

すじで見る

家庭の防災対策

家にいるときに大きな地震が起きたら? 子どもの命は親の危機意識に委ねられています。親が危険と対策の必要性に気付き、防犯対策を整ることで、「いつ何が起こるかわからない」という

取材協力／香川県危機管理課、香川県防災センター

参考資料／「今すぐできる!ママが子どもを地震から守るためにもつながり

「親子のための地震安全マニュアル(日本出版社)」
「地震から子どもを守る50の方法(ロング新社)」

ます。この機会に親であるあなたが“気付き”、“行動”に移しませんか。

危機意識を子どもに身に付けさせ、自分の身を自分で守れる人間を育てるにもつながります。

家具や家電製品を固定して大きな揺れを逃げる

子どもも目線で室内の脅威をシャットアウト

これまでの大地震では、家具類の転倒や落下、割れたガラスなどによって多くの被害が発生しています。

今世紀前半にも発生すると予想される南海地震では、県内で震度5弱～6強の揺れが想定されています。震度6強になると立っていることも困難で、固定していない家具類のほとんどが移動し、多くが倒れることができます。

地震の防災第一歩は、大きく揺れたときに無事に逃れるための対策だと思います。

まずは、地震が屋内の①どこで②何をしているときに③発生したのかを想像し、シミュレーションしましよう。例えば①ベッドで②寝ているとき③すぐ横にある窓ガラスが割れて飛び散り、タンスが倒れたり引き出しが飛び出してくるなど。あらゆる危険を想定して被害を最小限に抑えるための対策を講じましょう。対策をするうえでの判断基準となる家具類の高さや重量などは、いずれの場合も体が小さな子どもの立場に立って考える必要があります。

case1

家具や家電製品の下敷きになる!!

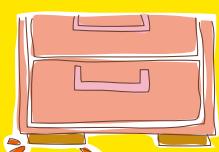
大型の家具や家電製品は重量もあるだけに、揺れが激しくなると破壊力の大きい凶器になります。揺れても動かないように家具類を固定しましょう。さらに、ベッドやソファーなど人がゆっくり腰を落着けるインテリアは大型の家具類や窓ガラスから離して配置し、安全性の高いレイアウトにすることが大切。家具類が転倒しても逃げ道をふさがない配置もポイントです。



家具と天井間に突っ張り棒や、削って高さを微調整した発砲スチロール製のブロックを設置



ピアノなどの脚に固定具を取り付ける



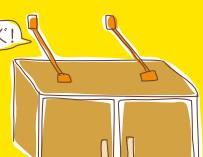
家具の下に敷板をかませる



家具をL型金具で壁や柱に直接固定



2段に分かれている家具の間に粘着シートを挟んだり、上下を金具などで固定



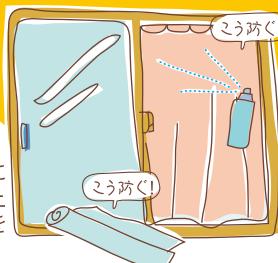
天井や壁と家具を細いロープやチェーンでつなぐ



case3

窓ガラスが飛散する!!

ガラスは揺れているときに飛散して危険を及ぼすだけでなく、床に散らばった破片も凶器になります。窓ガラスはもちろん、食器棚や本箱の引きガラス、鏡なども同様。割れたり、収納したものがガラスを突き破ったとしても破片が飛散しない対策が必要です。



防炎加工のカーテンにする
こう防ぐ!

窓ガラスに飛散防止フィルムをはりつける
こう防ぐ!



押し入れや本棚、食器棚などには大きい、または重量のあるものを下の方に収納する
こう防ぐ!



押し入れや本棚内をひもやバンドなどで固定する
こう防ぐ!



テレビや電子レンジなどは低い位置に置いて固定する
こう防ぐ!



引き出しや扉にはフックなどをつける
こう防ぐ!

建物の倒壊を防ぐ!!

耐震改修のすすめ

地震の防災に建物の耐震補強は欠かせません。阪神・淡路大震災の家屋倒壊被害の多くは、建てられたのが建築基準法改正(1981年)以前か否かで明暗が分かれました。

香川県では2011年度から1981年5月31日以前に建てた民間住宅を対象に、耐震診断や耐震改修に対する補助制度を用意しています。

■申請・問い合わせは

各市町の耐震対策窓口まで

*耐震化に関する相談は

香川県住宅課 ☎087(832)3584まで

収納しているだけでは万全ではないよ！

case2

物が飛んでくる!!

天井や壁につるしている物や棚の上に置いている物が落ちてくる以外にも、押し入れや棚に収納している物が飛び出してくれることもあります。子ども部屋を中心に物の飛散や落下防止の対策を講じましょう。



食器や家電製品、置き物などに滑り止めを敷く。
こう防ぐ!



家具や棚の上に物を置かない
こう防ぐ!



壁に取り付けたエアコン、時計、額などを固定する
こう防ぐ!



家中を整理整頓して、できるだけ物を収納する
こう防ぐ!



つり下げ式の照明器具は釣り糸などで固定するか、固定型の器具に変える
こう防ぐ!

家庭でできる

防災教育

子どもの危機意識をはぐくむための防災教育はとても大切です。家庭では、「学ぶ」というかっこ

まったくたちよりも、親子で楽しみながら自然と身に付けられるような方法を取り入れたいものです。

五感を駆使した体験ができる 香川県防災センター

震 度2～7の地震の揺れや消火器を使って火を消すなど、災害やその避難行動などを擬似体験できるのが「香川県防災センター」。

縦揺れと横揺れの両方を体験できる西日本でも数少ない施設です。小学校の総合学習や各種団体の視察研修など、年間1万人以上が利用しています。

▼消火▼映像▼救急救護の6つの

コーナーがあり、見学者の年齢に合わせた説明でスタッフが案内してくれます。防災の心構えを学べる映像体験コーナーではすでに東日本大震災の教訓も盛り込まれています。

特に子どもにとっては、災害時に冷静な行動に結びつくような経験ができるでしょう。



▲地震体験コーナーで震度6を体験する子どもたち。家具などはすべて固定しているので、幼児でも安全に揺れを体験することができます



▲煙が充満した建物からの避難でドキドキ!!



▲県消防学校の1階にあります。さぬき浜街道から数カ所に看板が設置されています



▶風速30mの暴風を全身で受けける子どもたち。男の子でも「怖かった」と本音をのぞかせます



高松市生島町689-11 ☎087(881)0567 午前9時～午後5時
月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始休館 入館無料 駐車場完備
※10人以上の団体は要予約



▲インターネットで公開され、自由に印刷できる「あそぼうさいカルタ」<http://www.pref.kochi.lg.jp/~shoubou/sonaetegood/enjoy/carta.html>



▲高松市図書館所蔵の読み物



幼い児童には絵本や紙芝居などを利用する方法もあります。図書館には図鑑や漫画など年齢に応じて地震などの災害が学べる読み物がそろっています。人数が集まつたときの遊びとしてなら、防災をテーマにしたすごろくやカルタ、ジェスチャーやを使ったゲームなどのツールがおすすめ!!

絵本・紙芝居・ゲーム

経験することになると生き抜く力になるんだよ!!

サバイバルに慣れる アウトドア体験

テントなどを使ってアウトドアでキャンプをする、火を焚いて食事を作る、簡易トイレを使って過ごす、暑さや寒さの中で寝床を作つて寝るなど、アウトドア体験はすべて災害時の避難所生活に生きできます。防災グッズと備蓄品をフル活用しながら、ライフラインの絶たれた不便さや自然の気候に身を慣れることはとても貴重な経験となるはずです。



▲【参考】防災教育活動の秀逸情報提供サイト「防災エイジのHP」http://homepage3.nifty.com/eiji_itoh/index.html

子どもの健康管理や育児についての 悩み・不安には…

育児相談から親子の交流まで

■地域子育て支援センター

保育所等に併設し、入所園児に限らず地域の乳幼児子育て家庭等が相談可能。

■つどいの広場・かがわの広場

乳幼児を中心とした親子が集い、交流や情報交換を行っている拠点。

専門の相談窓口

■保健所・保健センター

乳幼児の発育や発達、言葉などの相談事業や親子教室など。

■児童家庭支援センター

児童家庭支援センターけいあい ☎0879-25-6067

児童養護施設に併設。地域の関係機関と一緒に、子どもと家庭についての相談。

■児童相談所

子どもや家庭に関するさまざまな相談（子育ての心配や不安、言葉や発達の遅れが心配など）。

県子ども女性相談センター ☎087-862-8861

県西部子ども相談センター ☎0877-24-3173

■子育てホットライン

県教育委員会 ☎087-861-4951

家庭教育の悩みや不安に関する電話相談。

■子どもホットライン

県教育委員会 ☎087-835-7867

いじめなど、子どもからの電話相談に、相談員が応じています。

■問い合わせ／県健康福祉部子育て支援課 ☎087-832-3287



赤ちゃんの急病に参考になるホームページ

医療ネット講義

<http://www.medinfo.ne.jp/kagawa/>

子どもの急救 <http://kodomo-qq.jp/>

診療時間	午後7時～午後11時	時	休日や夜間に急な病気で困った場合の診療所等
○ 香川小児病院(小児科)	0875(52)3366	時	高松市歯科救急医療センター(歯科)
○ 三豊総合病院(小児科)	0875(52)3366	時	高松市夜間急病診療所(内科・小児科)
○ 聖音寺市豊浜町姫浜	0875(52)3366	時	大川地区小兒夜間急病診察室(小児科)
○ 聖音寺市善通寺町	0877(62)0885	時	さぬき市寒川町石田東甲

診療時間	午後7時～午後11時	時	休日や夜間に急な病気で困った場合の診療所等
○ 香川小児病院(小児科)	0877(62)0885	時	高松市歯科救急医療センター(歯科)
○ 三豊総合病院(小児科)	0877(62)0885	時	高松市夜間急病診療所(内科・小児科)
○ 聖音寺市善通寺町	0877(62)0885	時	大川地区小兒夜間急病診察室(小児科)
○ 聖音寺市善通寺町	0877(62)0885	時	さぬき市寒川町石田東甲

病児・病後児保育 働くパパ・ママはどんどん利用!

保育所では、子どもが病中(発熱など)や病後(回復期)の場合は預かってくれません。そんな時は一人で無理せず、保護者に代わって子どもを預かってくれる「病児・病後児保育」を利用しましょう。県内では小児科医院や保育所に併設する施設が13カ所あり、看護師や保育士が保育に当たります。利用料金の目安は1日当たり2000円前後。詳しくは下記の実施機関にお問い合わせください。

【病児・病後児保育実施機関】

(2012年3月1日現在)

施設名	電話番号
香川医療生活協同組合へいわこどもクリニック病児保育はとばっぽ(高松市栗林町)	087-835-2065
トビウメ小児科医院付属病児保育室「子どもの家」(高松市伏石町)	087-865-3111
西岡医院病児保育室「レインボーキッズ」(高松市寺井町)	087-885-2863
小林内科小児科医院付属病児保育室「すこやかルーム」(高松市屋島西町)	087-844-8156
はらこども園病後児保育室(高松市牟礼町)	087-845-0234
総合病院回生病院(坂出市室町)	0877-46-1011
カナン子育てプラザ21「らっこ」(善通寺市生野本町)	0877-62-3695
にしかわクリニック病児保育室「げんきになあれ」(善通寺市木徳町)	0877-63-6500
三豊総合病院病後児保育室「わたっこ保育園」(観音寺市豊浜町)	0875-52-6685
小児科内科三好医院病(後)児保育室「チャイルド・ケアシステム・エム」(東かがわ市)	0879-25-3503
土庄町病児・病後児保育室「げんきっこ」(土庄町土庄中央病院内)	0879-62-1211
内海病院・病児・病後児保育室「オリーブキッズ」(小豆島町内海病院内)	0879-82-2121
綾川町病児保育室「うぐいす」(綾川町国民健康保険総合保健施設えがお内)	087-876-1185

病状が急変することの多い子どものために、休日の指定医療機関や夜間救急医療機関などをあらかじめ確認しておきましょう。受診の際には事前に電話連絡が必要です。

夜間・救急診療について

休日や夜間に急な病気で困った場合の電話相談

休日や夜間の急病で対応に困ったときは、「#80000」をプッシュすると、看護師への電話相談ができます（必要に応じ医師がサポートする体制です）。

受付時間／毎日午後7時から翌朝8時まで※ブッシュ回線携帯電話（主要携帯電話会社3社）からの利用が可能。それ以外は ☎087(8223)1588

郷土料理を知り、地域との交流を深める 高齢者とおはぎ作り

「栗熊小学校」では、おはぎや押しぬき寿司などの郷土料理作りを通して、地域の高齢者と触れ合う「地域のお年寄りとの交流会」を年2回行っています。児童、高齢者、保護者も毎年楽しみにしており、交流会は20年以上も続いています。



▲「碧空会」のメンバーと一緒に試食会。みんな大満足の出来栄えに笑顔も



▲最初は不安げだった手つきも丁寧な指導を受け、みるみるうちに上達

栗熊地区の高齢者などで構成するボランティアグループ「碧空会」のメンバー5人の指導で、5年生21人がおはぎ作りに挑戦しました。まづ、米粒がつかないよう、水で手をぬらし、炊きあがったもち米を適量

愛情込めたおはぎ 老人宅訪問し手渡し

その後、栗熊校区に住む75歳以上の独居老人宅に、作ったばかりのおはぎにメッセージを添えて直接持つてていきます。事前に来訪の案内状を送付しており、高齢者はお菓子を準備するなどして何日も前から楽しみに待っています。高齢者からは「1ヶ月ぶりに会話をした」「仏壇に供えてからいたします」と喜びの声が聞かれ、後日お礼のはがきやメッセージが学校に届くそうです。

押しぬき寿司作りで お年寄りとの交流続く

「5年生は福祉の授業で独居老人の生活や現状を学びます。校区にも独居老人がいることを知ると、頑

手に取ります。手の平で平たく伸ばしたら、丸めたんを包んでいくのですが、これが意外と難しい！もち米が多くたり少なかったり、うまく丸くならなかったり。児童たちは悪戦苦闘しながら、愛情を込めてきた粉と青のりの2種類のおはぎを完成させました。

その後、栗熊校区に住む75歳以上の独居老人宅に、作ったばかりのおはぎにメッセージを添えて直接持つてきます。事前に来訪の案内状を送付しており、高齢者はお菓子を準備するなどして何日も前から楽しみに待っています。高齢者からは「1ヶ月ぶりに会話をした」「仏壇に供えてからいたします」と喜びの声が聞かれ、後日お礼のはがきやメッセージが学校に届くそうです。

6年生

の初夏には、サワラを使った押しぬき寿司を「碧空会」メンバーや地元仕出し店の料理人と一緒に作り、同じ老人宅に届けます。何回か訪問しているうちに「おばあちゃん元気かな」「様子を見に行つてもいい?」と、気にかけるなど、交流の中で思いやりや優しさの心も身に附いているようです。

他にも総合的な学習の時間を活用し、5年生は地域の老人ホームで交流したり、6年生はキャリア教育の一環として地元のうどん屋や自動車屋を取材するなど、さまざまな地域との交流の機会が設けられています。



▲6年生では、旬のサワラを使った押しぬき寿司とみそ汁を作ります



がんばる Kid's

かがわジュニア・ニューフィルハーモニック・オーケストラ(KJO)

心を一つにして奏でるハーモニー

2001年度に設立された「かがわジュニア・ニューフィルハーモニック・オーケストラ(略称KJO)」。基礎コースと合奏コースがあり、県内全域から集まった4歳から高校2年生までの約130人がアルファアナぶきホールで練習に励んでいます。

取材したのは合奏コースの弦楽器パート。山崎盾之さんの指揮の下、3月24日(土)の公開レッスンに向けて、交響曲の父、といわれたハイドン作曲の交響曲第100番「軍隊」を取り組んでいます。

メロディーごとのフレーズに区切り、全体が美しいハーモニーに仕上がるよう繰り返し練習。音楽監督の福崎至佐子さんが、弓のどの部分を使ってどんな音を出すのかという具体的な技術を、手本を示しながら指導します。「みんなで合わせ

るのがオーケストラの魅力。練習を通して集中力や協調性が育っています」と福崎さん。一人一人の音が重なって美しい音色になり、山崎さんから「花まる!」と言われると、真剣だった子どもたちの顔がほころびます。

「先生が面白いし、練習は楽しい。みんなのテンポについていけるようにがんばりたい」と真田大勢君(小6)。小学3年生の高橋利太君は「練習は少し疲れだけど、テンポの速いところをもっと練習したい」と話していました。

練習は土・日曜を中心に実施。基礎コースは初心者からでも参加できます。

問い合わせ

アルファアナブキホール文化事業課
☎087(823)3128



▲個人の音やテンポがうまく合わさり、一つの美しいハーモニーになります



▲「将来はオーケストラの団員に」という子も少なくありません

開架22万冊・
書庫100万冊の蔵書を
誇る

香川県立図書館

香川県立図書館の広々とした空間には、子育て世代にも役立つスペースやサービスがいっぱい。「親子読書」「子育て支援」などのコーナーが充実しているほか、インターネットによる図書検索・予約を利用すれば、すばやく本を借りられます。平日午前中など乳児が多い時間に利用するなど、小さなころから本と触れ合う時間を作りましょう。



児童資料

乳幼児から小学生までを対象とした本のコーナー。絵本や童話のほか、子ども多様な興味に応える幅広い分野の本や紙芝居、雑誌があります。



「本を探すための、本もあります。写真入りで多くの絵本が紹介されており、読みたい本が見つかるかも。」



子育て支援コーナー

図書館入り口近くに設置されたコーナー。▶妊娠・出産▶育児▶しつけ▶教育など、段階ごとに必要になる本が並んでいます。子育てで悩んだり、疲れたなと感じたときに、ヒントが見つかる場所です。



親子読書コーナー

児童資料コーナー奥には、カーペット敷きの親子読書コーナーを準備。0歳から年齢ごとにおすすめの本が並んでおり、今読んであげたい本が見つけやすくなっています。ゆっくり本を読んだり、子ども同士、ママ同士の友達を作る舞台にも。定期的におはなし会などのイベントも開催しています。

6
ベビーベッドを備えた授乳室や、幼児用トイレも完備!



ENGLISH BOOK

読み聞かせイベントも開催!

恒例となったおはなし会のほか、英語絵本の読み聞かせや歌、ゲームなどを通じて英語に親しむ「English Books & Activities」などのイベントを開催。幼児～小学生が対象です。

読書週間中の4月下旬～5月上旬には、工作なども取り入れたイベントを開催予定。詳細はお問い合わせください。



図書館のホームページから、蔵書検索ができます

資料貸出カードを持っていれば、①インターネットによる予約(貸し出しが可能になったときはメールで連絡)②読みたい本の利用状況の確認③貸し出し期間の延長④新着図書のお知らせメールを受け取ることができます。

高松市林町2217-19 ☎087(868)0567 9:00～19:00、土日祝9:00～17:00 月曜休館 <http://www.library.pref.kagawa.lg.jp>

子育てそばくな疑問



Q

子供の花粉症が増えていると聞きます。風邪と間違えてしまいそうですが、見分け方や気をつけることはありますか？

A

子供の花粉症は年々増加、低年齢化しています。中でも早春から初夏のスギ花粉症が多く、2歳頃から発症するケースもあります。

子供の場合は風邪との区別が難しいのですが、喘息やアトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患の既往歴や家族歴がある子供が発症しやすく、こうした背景がある場合、今

の時期に水のような鼻汁、鼻づまり、くしゃみ、目のかゆみといった症状を数週間にわたって訴えるならば、かかりつけ医に相談されることをお勧めします。

花粉症の診断には、詳しい問診の後に血液検査で花粉に対するアレルギー反応をみたり、鼻汁を採取して成分を分析するなどの検査をします。花粉症を疑って病院を受診する時には、いつ頃からどのような症状があつたかを詳しく書いてメモを持参するとよいでしょう。

花粉症は今や国民病とも言われますが、子供でも増加しています。

子供の花粉症は風邪との区別がつきにくいのですが、見分ける目安として花粉症ならば水のような鼻水が流れるように出てくる、目のかゆみやくしゃみをともなう、風の強い晴れた日や外出時に症状が強くなる、

症状が長引くなどの特徴が、風邪ならば色のついた粘っこい鼻水が出て、発熱やどの痛みをともない、数日で症状が改善するという特徴があります。また、花粉症はアレルギー体質を持つ方に多く、過去に気管支喘息やアトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎と言われたことがある、またはそうした病気を持つ家族がいる子供が花粉症になりやすいです。

薬物療法は、症状が軽ければ点眼薬や点鼻薬などを使用します。これらの局所薬で効果が不十分ならば、内服の抗アレルギー剤が追加となる場合もあります。花粉症を持っていることがあらかじめ分かつている人には花粉飛散シーズンの少し前から予防的に薬を使用しておくと症状が軽くなります。

近年花粉症も低年齢化しており、2、3歳すでに花粉症と診断される子供もいます。2週間以上鼻水が続いている場合は風邪と決めてしまわずにかかりつけ医に相談されることを

花粉症の治療の二本柱は①原因の花粉から遠ざかること②薬物療法一です。花粉飛散のシーズンにはできるだけ外出を控え、特に晴れた日、風の強い日）、外出時にはマスクメガネ、つるつるした衣服を着用し、帰宅後の手洗い、うがい、着替えを欠かさないようにしましょう。また、洗濯物や布団を野外に干すことは避けましょう。

香川県小児科医会 岡本 尚子

地域に開かれた信頼される保育園を目指して 育児の知恵を伝承

園・家庭・地域が交流

高松市十川東町のすみれ保育園に、子育て支援センターとして併設されている「すみれおやこのひろば」。地域の親子が気軽に訪れることができ、地域と信頼関係を築き、園、家庭、地域で子どもを育てるための大切な場所として定着しつつあります。



▲絵本の絵に見入ったり、触ったりして、絵本の世界を満喫します



▲年齢や子どもの興味に合わせた絵本の選び方のアドバイスも

**親子の距離近づけ
心の栄養になる絵本**

「すみれおやこのひろば」は、1998年に自主事業としてスタート、2000年からは高松市の地域子育て支援拠点事業として運営されています。利用できるのは、月曜から金曜の午前10時～午後3時。現在

子育ての悩みを相談 保育士がサポート

日替わりで園庭開放、絵本タイム、親子クッキング、育児相談などを行われ、地域の人が料理や絵など得意分野を生かして、子どもや母親たちにさまざまな経験の場を与えています。

ひろばではあいさつを重視。常駐している保育士のサポートもあり、子ども同士、母親同士が楽しく過ごしています。親と子が安心して過ごせる居場所となっています。転勤族

同ひろばは登録制で、年会費1000円（保険料含む※折り紙教室など一部は実費が必要）。未就園児なら誰でも参加できます。

人が絵本を読んであげると、短い時間でも濃密な関わりの時間になります。お母さんが昆虫の本を読んであげると、お母さんが昆虫のことを教えてあげたことになると、と読み聞かせを担当する村上先生。

多くの地域なので、誰かに子育ての悩みを相談できるというのは大きなメリット。助産師を迎えての相談会やマタニティーママの保育体験などは人気が高いイベントです。

豆まきなど大きな行事は、保育園児と一緒に参加したり、年に数回は「パパフレンズ」として、父親にも子どもと一緒に遊ぶ喜びを味わってもらおうとペール遊びなども企画されています。

また、「出前保育」として、十

河・川島・西植田のコミュニティセンターへ出向き、乳児相談、絵本や手遊びなどをすることで子育て支援センターがあることを積極的に伝えています。



▲体操教室やバルーン遊び、園庭で三輪車に乗るなど、親子で楽しめる催しがいっぱい!

「言葉を楽しむ」劇発表会 地域ぐるみで成長を見守る

4、5歳児、計31人が通う「まんのう町立仲南東幼稚園」では、保護者や地域の人たちと協力し合いながら、さまざまな活動を行っています。創立記念イベントとして毎年行っている「劇発表会」と、家庭教育学級の活動を取材しました。



▲発表会や運動会、遠足など、父親の参加率も高いそうです

◆今年はインフルエンザの影響で全体の練習時間が少なくなりましたが、みんなで力を合わせてやり遂げました



12月に行うおゆうぎ会は歌や合奏など音楽的な発表なのに対し、1月に行う劇発表会は言葉の表現にねらいを置いています。「言葉を楽しむ」をテーマに、「じゅげむ」や「かごめかごめ」などの童歌を歌ったり、「かさじぞう」といったなしみのある話を劇やオペレッタとして発表。読み聞かせで話を知ることから始め、遊びの中に歌や動きを取り入れていきます。本格的に始めるのは本番2週間前というから驚き。園児は練習にも意欲的に取り組み、言葉で「優しさ」や「さびしさ」を表現することを学びます。当時は家族や地元のお年寄りなどを招き、地域総出で成長を見守ります。

「友達と心を合わせることの大切さ、一つの目標をやり遂げる達成感を学んでほしい」とは神垣郁子園長。人前で話すのが苦手だった園児も、友達と一緒に活動することで自信を持つようになります。

12月に行うおゆうぎ会は歌や合奏など音楽的な発表なのに対し、1月に行う劇発表会は言葉の表現にねらいを置いています。「言葉を楽しむ」をテーマに、「じゅげむ」や「かごめかごめ」などの童歌を歌ったり、「かさじぞう」といったなしみのある話を劇やオペレッタとして発表。読み聞かせで話を知ることから始め、遊びの中に歌や動きを取り入れていきます。本格的に始めるのは本番2週間前というから驚き。園児は練習にも意欲的に取り組み、言葉で「優しさ」や「さびしさ」を表現することを学びます。当時は家族や地元のお年寄りなどを招き、地域総出で成長を見守ります。

「友達と心を合わせることの大切さ、一つの目標をやり遂げる達成感を学んでほしい」とは神垣郁子園長。人前で話すのが苦手だった園児も、友達と一緒に活動することで自信を持つようになります。

地域と密接に関わり 保護者同士も連携

他にも、家庭教育学級の活動として、地域の老人会「小池さわやかクラブ」から講師を招き、親子で粘土を使った皿作りに挑戦。竹串やキリなどの道具を使い、皿の角をどうがらせたり、丸くしたり。先生の話を真剣に聞き、保護者と協力しながら思い思いの形に仕上げました。

行事には地域も保護者も協力的。役員を中心に助け合って進めます。保護者からは「交流の機会が多く、地域の人の顔が分かるようになります」との声も。神垣園長は「保護者同士の連携や地域と密着したこと。これからも地域ぐるみで子育てができる」と話します。